

東亜グループCSR活動の基本的な考え方

経営理念に掲げる

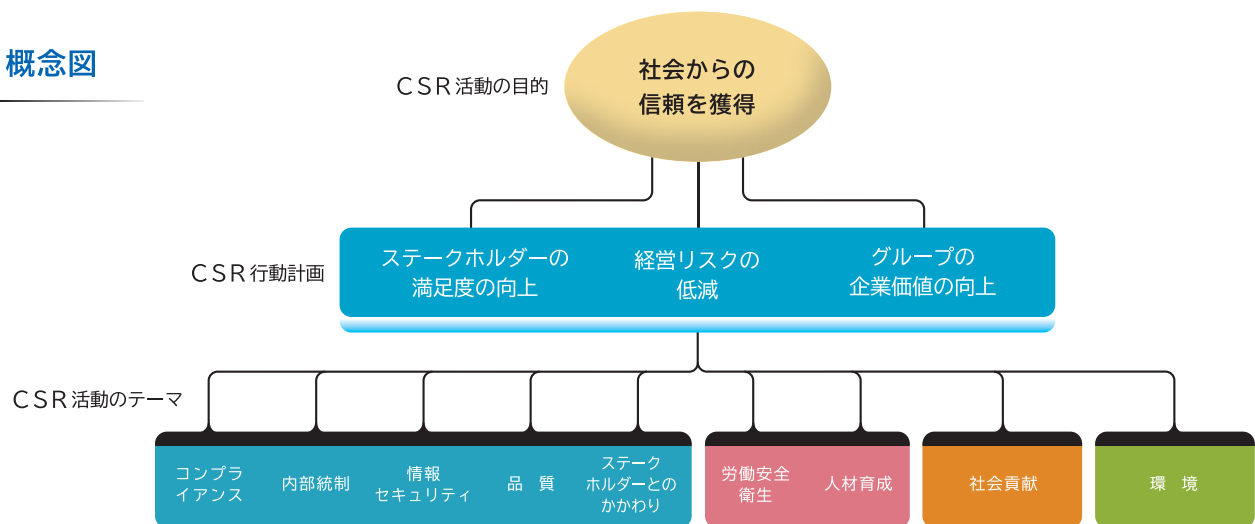
「高い技術をもって社業の発展を図り健全な経営により社会的責任を果たす」ことが社会における当社の存在意義であるとの認識のもと
健全で継続的な社業の発展をめざしてCSR活動を推進します

東亜グループは、海上土木、陸上土木、建築の分野で、日本はもとより広く海外のニーズにも応えています。そのめざすところは、CSR活動の目的としている「社会からの信頼を獲得」することです。この目的を達成するために、公正な企業活動による健全経営を追求し、高い技術により建設業者としての品質の高いサービスを提供

してまいります。

当社では、CSR中期目標を掲げ、従来から取り組んでいる9つのテーマを深化させることを優先してCSR活動に取り組んでいます。テーマごとに、期首に行動計画を策定し、期末に評価し、次年度の行動計画に活かしています。

概念図



企業行動規範

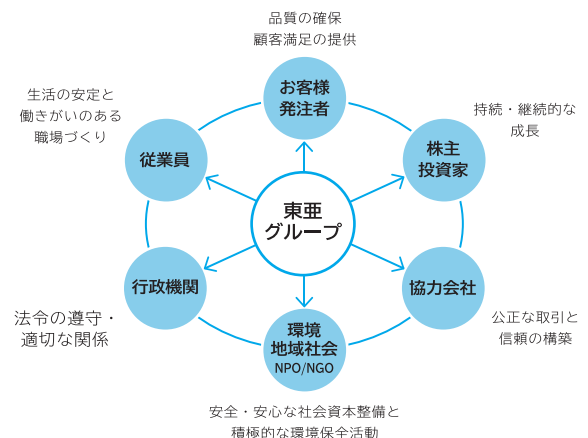
■ 東亜建設工業グループ企業行動規範

当社は、経営理念に掲げる「高い技術をもって社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」ことが、社会における当社の存在意義であるとの認識のもとにCSR活動を推進し、健全で継続的な社業の発展をめざすべく、ここに「東亜建設工業グループ企業行動規範」を定め、グループ全体に周知・徹底します。（2006年6月制定）

- ① 優良な建設物とサービスの提供
- ② 法令等の遵守の徹底
- ③ 公正な競争の推進
- ④ 反社会的勢力との関係の遮断
- ⑤ 企業情報の適正な開示と信頼の確保
- ⑥ 地域社会との調和と貢献
- ⑦ 環境への取り組み
- ⑧ 働きやすい職場環境と豊かさの実現
- ⑨ 国際社会との調和と貢献
- ⑩ 率先垂範と体制整備

東亜グループのステークホルダー

東亜グループは、株主、お客様、従業員、協力会社、関係機関、工事現場や事業所の近隣住民でさあがった構造物を利用する人々など、さまざまな人々、法人、機関と関わりをもち、支えられています。これらステークホルダーの満足度向上を図るため、グループをあげて取り組んでいます。



2013年度の主な活動実績と2014年度の主な活動目標

CSR活動の テーマ	2013年度			2014年度
	主な活動目標	主な活動実績	評価	主な活動目標
コンプライアンス	犯罪および重大事件“ゼロ”	犯罪および重大事件：0件 独占禁止法の遵守に関するTV会議システムによる研修とe-learning研修を実施 建設業法の遵守に関するe-learning研修を実施	◎	犯罪および重大事件“ゼロ”
内部統制	- 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備“ゼロ” - 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上	- 左記、重要な不備：0件 東亜グループ全事業所の内部監査実施 - 内部統制の強化および業務改善を指導 内部統制とコーポレートガバナンスに関するe-learning研修を実施	◎	- 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備“ゼロ” - 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上
情報セキュリティ	- 重大情報漏えい“ゼロ” - PCの盗難・紛失の台数“ゼロ” - 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内	- 重大情報漏えい：0件 利用環境のセキュリティ強化（導入ツールの利用拡大、パスワード強度の強化、PC管理システムの導入） 情報セキュリティに関するe-learning研修を実施 情報セキュリティの実施状況の確認と指導 - PCの盗難：0件 - 停止時間：主要システム15分、メール20分停止	◎	- 重大情報漏えい“ゼロ” - PCの盗難・紛失の台数“ゼロ” - 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内
品質	- 工事成績評価（官庁土木）：80点以上（平均） 国土交通省各地方整備局で表彰：1件以上 - 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上	- 工事成績評価（官庁土木）：78.9点（平均） 5地方整備局で12件表彰 - 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）のC評価2件	○	- 工事成績評価（官庁土木）：80点以上（平均） 国土交通省各地方整備局で表彰1件以上 - 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上
ステークホルダーとの かかわり	- 企業情報の開示に努める - 会社のPRに努める	- IR決算説明会（本決算・中期経営計画、第2四半期）を開催 現場見学会を開催 説明会資料をホームページ上で即時開示 - CSR報告書2013の発行 ニュースリリース 技術開発：9件、海外工事受注：1件	◎	- 企業情報の開示に努める - 会社のPRに努める
労働安全衛生	- 公衆災害“ゼロ” - 重大災害“ゼロ” - 業務上疾病“ゼロ” - 災害度数率0.50以下 - 災害発生件数 対前年度比20%削減	- 公衆災害：5件 - 重大災害：1件 - 業務上疾病：0件 - 災害度数率：0.65 - 災害発生件数：41件	×	- 公衆災害“ゼロ” - 重大災害“ゼロ” - 業務上疾病“ゼロ” - 災害度数率 0.50以下 - 非定常作業等での災害発生件数 対前年度比半減
人材育成	- 新卒者を40～50名程度採用 - 研修の充実 - 産学連携による人材育成	- 新卒者採用：48名 - 新教育方針に基づく各種研修の実施 職種別研修の拡充 - インターシップ9名受入	○	- 新卒者を50名を程度採用 - 研修の充実 - 産学連携による人材育成
社会貢献	- BCMシステムの有効性確認 - 共生社会活動の推進 エコキャップ活動： 収集目標40万個	- MCA無線機を導入 安否確認システム訓練を実施 - 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集結果51.7万個	○	- BCMシステムの有効性確認 - 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個
環境	後述ページ（P.31）参照	後述ページ（P. 31）参照		後述ページ（P. 31）参照

凡例 ◎……達成 ○……概ね達成 △……一部未達 ×……未達